

# 算数科 第2学年 学習指導案

指導者 吉澤 美公

## 1 単元名 ひっ算のしかたを考えよう

### 2 単元の具体的な評価規準（国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」参照）

知識及び技能	思考力、判断力、表現力	主体的に学習に取り組む態度
① 2位数の加法及びその逆の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできていることを理解し、それらの計算が確実にできる。また、それらの筆算の仕方について理解している。	① 2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考えている。	① 2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考えようとしている。
② 簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知っている。	② 2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方と筆算の仕方を関連付けて考えている。	② 2位数の加法及びその逆の減法の計算を生活や学習に活用しようとしている。
	③ 簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を考えている。	

### 3 単元の指導計画・評価計画（10時間） 本時 7/10時間目

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準 (評価方法)
第1次 たし算のひっ算		
1	○2位数+2位数=3位数(百の位への繰り上がりあり)の筆算の仕方を理解し、計算する。 ・問題場面から立式する。 ・ $83+46$ の筆算の仕方を考える。 ・筆算の仕方をまとめる。	知識・技能① (観察、ノート分析)
2	○2位数+2位数=3位数(十、百の位への繰り上がりあり)や、2位数+1、2位数=3位数(百の位への波及的繰り上がりあり)の筆算の仕方を考える。 ・ $76+58$ の筆算の仕方を考える。 ・筆算の仕方をまとめる。 ・ $46+57$ 、 $93+8$ の筆算の仕方を考える。	思考・判断・表現① (観察、ノート分析)
3	○学習内容を適用して、問題を解決する。 ・教科書94ページ「れんしゅう」に取り組む。	態度② (観察、ノート分析)
第2次 ひき算のひっ算		
4	○3位数-2位数(百の位からの繰り下がりあり)の筆算の仕方を考える。 ・問題場面から立式する。 ・ $129-53$ の筆算の仕方を考える。 ・筆算の仕方をまとめる。 ・計算のたしかめをする。	態度① (観察、ノート分析)

5	<p>○3位数－2位数（十、百の位から繰り下がりあり）の筆算の仕方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・146－89の筆算の仕方を考える。</li> <li>・筆算の仕方をまとめる。</li> <li>・計算練習をする。</li> </ul>	思考・判断・表現① （観察、ノート分析）
6	<p>○3位数－1、2位数（十、百の位から波及的繰り下がりあり）の筆算の仕方を理解し、計算する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・102－65と既習の違いを考える。</li> <li>・筆算の仕方をまとめる。</li> <li>・計算練習をする。</li> </ul>	知識・技能① （観察、ノート分析）
7 本 時	<p>○3位数－1、2位数（十、百の位から波及的繰り下がりあり）の筆算の特徴を、数の見方や既習の筆算の仕方を基に考え、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・102－65と同じやり方の筆算を見つける。</li> <li>・波及的繰り下がりが必要な筆算の条件をまとめる。</li> </ul>	思考・判断・表現② （観察、ワークシート分析）
第3次 大きい数のひっ算		
8	<p>○3位数＋1、2位数（百の位への繰り上がりなし）や3位数－1、2位数（百の位からの繰り下がりなし）の筆算の仕方を考え、理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・415＋32、345－21の筆算の仕方を、既習を基に考える。</li> <li>・筆算の仕方をまとめる。</li> </ul>	思考・判断・表現③ （観察、ノート分析）
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18＋345、526＋9を筆算で計算する。</li> <li>・483－27、524－6を筆算で計算する。</li> <li>・計算練習をする。</li> </ul>	知識・技能② （観察、ノート分析）
まとめ		
10	<p>○学習内容の定着を確認し、数学的な見方・考え方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書102、103ページ「たしかめよう」「つないでいこう算数の目」に取り組む。</li> <li>・学習のふりかえりを書く。</li> </ul>	態度② （観察、ノート分析）

#### 4 本時の展開

<p style="text-align: center;">主な学習活動と児童の反応</p>	<p style="text-align: center;">留意点と評価</p> <p style="text-align: center;">〔 *留意点            □評価 〕            ◎教師の出番      ☆ICT活用</p>
<p>1 これまでに学習した筆算の方法を復習する</p> <p>【レベル1】            【レベル2】            【レベル3】</p> $\begin{array}{r} 129 \\ - 53 \\ \hline 76 \end{array}$ $\begin{array}{r} 146 \\ - 89 \\ \hline 57 \end{array}$ $\begin{array}{r} 102 \\ - 65 \\ \hline 37 \end{array}$ <p>2 本時の課題を確認し、めあてを決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題    ア 103      イ 103      ウ 103</p> <math display="block">\begin{array}{r} 103 \\ - 47 \\ \hline \end{array}</math> <math display="block">\begin{array}{r} 103 \\ - 41 \\ \hline \end{array}</math> <math display="block">\begin{array}{r} 103 \\ - 43 \\ \hline \end{array}</math> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引かれる数の十の位に0がある。</li> <li>・前回学習した 102-65 に似ている。</li> <li>・レベル3で計算できそう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 102-65 と同じ、くり下げレベル3のひっ算 <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 40px; height: 15px; vertical-align: middle;"></span>。</p> </div> <p>3 ペアや個人で考える</p> <p>4 全体で共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの問題も十の位が0だし、百の位から十の位に繰り下げているから、みんなレベル3だと思う。</li> <li>・イとウは、十の位が0だけど、繰り下がり1回だからどれも違う。レベル4。</li> <li>・アは、繰り下がりが2回あるし、十の位が0だからこれがレベル3だと思う。</li> </ul> <p>5 まとめる</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【くり下げレベル3のとくちょう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一の位が引けないよ。</li> <li>・十の位からくり下げられないよ。</li> </ul> <p>➡だから、まず、百の位からくり下げるよ。</p> </div>	<p>(既習) ※p96 ②⑥は未習</p> <p>レベル1：繰り下がり1回            レベル2：繰り下がり2回            レベル3：繰り下がり2回</p> <p style="text-align: center;">十の位から繰り下げられない            (被減数に空位あり)</p> <p>*この段階では、各レベルの詳細について触れない。前時に学習した 102-65 のみ、筆算の仕方を全体で確認する。</p> <p>◎数に着目させるため、イとウの数字を一部を隠しておき、いくつだと思いか児童に予想させる。</p> <p>◎本時の課題の特徴を確認する。</p> <p>*共通していることや手がかりになりそうなこと等に視点をあてて考えさせる。</p> <p>* <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 30px; height: 15px; vertical-align: middle;"></span> については、児童の発言を取り上げる。</p> <p>例：～か、たしかめよう。            ～か、しらべよう。            ～を、さがそう。</p> <p>*まずはそれぞれの問題を計算し、ペアで筆算の答えを確認する。その後、個人で課題解決に取り組む。</p> <p>☆スクリーンに位取り表を映しておく。</p> <p>◎既習に立ち返りながら、繰り下がりの回数だけでなく、その必要性や順序に着目できるよう問い返す。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>思考・判断・表現②</b></p> <p style="text-align: center;">数量の関係に着目し、計算の仕方と筆算の仕方を関連付けて考えている。</p> <p style="text-align: center;">(行動観察・ワークシート分析)</p> </div>

5 本時の板書計画

あける 102-65と同じ  
くり下げレベル3のひ  
算を見つけよう。

レベル 3 ②

$$\begin{array}{r} 910 \\ 010 \\ \textcircled{1} \cancel{0}2 \\ - 65 \\ \hline 37 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 910 \\ 010 \\ \cancel{0}3 \\ - 47 \\ \hline 56 \end{array}$$

①

$$\begin{array}{r} 010 \\ \cancel{0}9 \\ - 72 \\ \hline 37 \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 010 \\ \cancel{0}3 \\ - 63 \\ \hline 40 \end{array}$$

レベル 1

$$\begin{array}{r} 010 \\ \cancel{2}9 \\ - 53 \\ \hline 76 \end{array}$$

レベル 2

$$\begin{array}{r} 010 \\ \textcircled{2} \cancel{0}310 \\ \cancel{4}6 \\ - 89 \\ \hline 57 \end{array}$$

- ・くり下がりが2回 → -のくらい ひけない
- ・十のくらいが0 → -のくらいに

くり下がりが1回 → -のくらいは ひける

・くり下がりが2回  
・-のくらいに  
くり下げられる

- ① 十のくらい → -のくらい
- ② 百のくらい → 十のくらい

- くり下げられよ
- ① 百のくらい → 十のくらい
  - ② 十のくらい → -のくらい

くり下げるじゅんじゅがちがう

レベル3は…

- ⊗ -のくらいが ひけないよ。
- ⊗ 十のくらいが 0だよ。

だから、まず百 → 十にくり下げるよ。